

創造

進路だより就職編 第4号

令和2年12月24日発行
種子島高校進路指導部 就職指導係



来年は就職戦線もっと異状あり!?

今年度の採用試験はコロナの影響もあり、高校生の採用試験もオンラインでの筆記試験や面接が導入されました。ただ種子島高校の生徒については、ほとんどの企業が対面での面接を実施しており、やはり面接では、生徒を直接見たいという企業側の心意気を感じました。今年度は例年に比べ、いろいろな変更はあったものの、企業側、学校側ともにノウハウが少なく、その影響は限定的だったと言えるかもしれません。コロナの終息が見えない中で、生活様式や働き方が見直され、世の中がものすごいスピードで変化している現在ですが、来年は高校生の採用試験についても更にオンライン化が進むことになるでしょう。対面での面接と違い、Web面接は画面越しのコミュニケーション形態であるために、今までとは違う対策や準備が必要になってきます。そう遠くない未来にオンライン就職が当たり前になる日がきます。そのときに備え、常に世の中の動きにアンテナを張り、時流を読み取る感覚を持ってほしいと思います。

進路セミナー開催

12月17日に進路セミナーが開催されました。今回はハローワーク就職支援ナビゲーターの塩浦ひろみ先生と本校キャリアガイダンススタッフの今給黎光子先生にご講話をいただき、本校3年生7名による就職試験体験発表も行われました。1,2年生の皆さんは、今回のセミナーの内容をしっかりとまとめて、来年、再来年の就職活動にぜひ役立ててください。講師の皆様、本当にありがとうございました。



3年生による体験発表

未来への扉 キャリアガイダンススタッフ 今給黎光子

令和2年の今年度は日本中がコロナ感染症で、様々な思いもよらない影響を受けました。そのような状況の中でも3年生のほとんどが就職活動も一段落した人が多く、次のステップを準備中だと思います。進路の決まった人は残りの学生生活を楽しむ事も大切ですが、就職先に赴任するまで生活面や健康面で気を抜くことのないように、毎日を大切に過ごして下さい。

先日2年生には進路セミナーで少しお話をする機会がありました。1年生にも来月就職講話で話す機会を頂いています。自分の進路を1年生は「まだ2年にもなっていない!」、2年生も「3年になってから考えればいい!」と思いのんびり人ごとと思っている人が多いと思います。先日の進路セミナーで発表した先輩も『3年生になってからでは遅い、早いうちに親や先生たちに相談し、友達とも話をして早く準備したほうが良いです』と話してくれました。「就職して働く」という自分の将来を思い描き、シミュレーションしてどんな準備をしていったらよいかを考えてみて下さい。「なぜ働くのか」ということを、自分で理解し納得した上で就職を選択して欲しいです。

そのためには早い時期に、自分がしたいことや、どこで働きたいかなどを考えてみましょう。また、まだ何も考えていない人もどんな仕事の求人が来ているのかを調べましょう。自分と向き合いながら求人票・会社案内・企業のホームページなどで会社の情報収集をしたうえで、将来の自分の姿を早い時期に意識出来るかどうか大切なポイントになります。そのためにも1・2年生は先輩たちに遠慮せずに進路資料室をどんどん利用しましょう。資料室にはたくさんの資料がそろっています。求人票・会社案内の他にも資料があり、パソコンには平成20年度卒業生からの受験報告書もデータとして保存してあります。先輩たちが残してくれた貴重な資料を活用しましょう。

まずは何をすれば良いのかと迷った人は、いつでも相談に来て下さい。皆さんが進路室に来てくれるのを楽しみに待っています。それではみなさん、よいお年をお迎えくださいね。